



車イスがピカピカに

車イスを磨くボーイスカウトの皆さん

9月6日、曾於第6団ボーイスカウト隊が末吉岩南地区にある特別養護老人ホーム「輪光無量寿園」で車イス磨きの奉仕活動を行いました。

この活動は毎年敬老の日の頃に行い、今年で32回目。当日は、車イス約30台をきれいに磨きあげました。参加した鮫島圭敦班長（15歳）は「きれいになったと喜んでいただき僕たちもうれしかったです。毎年この活動を続けるようにしたいです」と話しました。入隊希望の方は「曾於第6団」でWeb検索をお願いします。



池山池でつり大会開催

釣りを楽しむ参加者

8月17日、末吉町岩崎の池山池でつり大会が行われ、参加者46名が魚釣りを楽しみました。

このイベントは市民提案型地域づくり事業の一環で「池山と周辺地域を元気にし隊」の皆さんが、元気な池山にして地域を盛り上げたいと企画しました。この日1番の大物は、なんと体長72センチ、重さ6.5キの鯉。魚が釣り上げられるたびに見学者から歓声が沸き、大いに盛り上がりました。参加者は「来年も開催して欲しいです」と満足した表情で話しました。



自殺のないまちづくりを目指して

市長から委員委嘱状を受ける司法書士の田代さん

8月21日、曾於市自殺予防対策協議会の設立総会が行われました。

この協議会は、曾於市が県内でも自殺率の高い自治体の一つであることから、病院や消防、警察、金融機関代表、民生委員など様々な分野の機関・団体が連携して、自殺防止を図ることを目的に設立されました。

今後は、現状の把握と課題の抽出を行いながら、「自殺のない安心して暮らせるまち」を目指して、本市にあつた対策の検討や啓発イベントなどを行う予定です。



日置市・枕崎市観光協会が曾於の観光を研修

悠久の森にある滝を寺島ガイドが説明

8月22日に日置市観光協会、9月3日に枕崎市観光協会が先進地研修として曾於市観光特産開発センターの観光の進め方などを学びました。

両観光協会は、曾於市の観光が急激に進展していることに着目。実際に市内の観光地をガイドが説明し、そのテクニックなどを教わっていました。また、センターの構成人員や役割分担、旅行者との連携、観光ガイドの育成方法、ツアーのPR方法等について質問をし、両観光協会の皆さんは納得した様子で研修を終えていました。

県操法大会優勝 全国大会出場へ！



全国への切符を手にした大隅南分団の皆さん

8月29日、鹿児島県消防学校で第30回鹿児島県消防操法大会が開催されました。

曾於支部代表として、ポンプ車の部は大隅笠木分団、小型ポンプの部は大隅南分団が出場。両分団とも日頃の訓練の成果を発揮し、笠木分団が5位入賞、大隅南分団が見事優勝し、全国大会への切符を手にしました。

全国大会は11月8日に東京で開催され、全国の大舞台での活躍が期待されます。大隅南分団の皆さん頑張ってください。

曾於市の未来を担う子どもたち 議会体験



子ども議員の皆さん

8月18日、曾於市子ども議会が市議会議場で行われました。

市内の子どもたちに議会や市政について興味・関心を持ってほしいと開催。市内小学5年生から中学2年生までの21名が堂々とした態度で質問を投げかけました。

諏訪小6年の川筋彩音<sup>かわすじあやね</sup>さんは「曾於市の少子化についてどう考えているのか」と質問。市長は「毎年約250人の赤ちゃんが生まれているが非常に少ない。子育てしやすい環境づくりに努めたい」と述べました。

「地産地消」黒豚肉味わう



黒豚丼の感想を話す児童

南九州畜産興業株式会社は曾於市、志布志市、大崎町の小・中学校へ学校給食の食材としてかごしま黒豚肉を提供しました。これは、地産地消と食育の一環として、平成19年から実施されています。

この日は、取材のため多くのテレビ局や新聞社が高岡小学校に駆けつけました。黒豚丼を食べた4年生の有馬<sup>ありま</sup>鈴花<sup>すずな</sup>さんは「肉の味付けがご飯とあつていてとてもおいしい。ナンチクの肉はおいしいのでよく食べます」と大満足の笑顔で話しました。

佐世保音楽隊ふれあいコンサート



心のこもった演奏を披露する音楽隊の皆さん

8月24日、財部きらめきセンターで「海上自衛隊佐世保音楽隊ふれあいコンサート」が開催されました。

第1部は「海へ」と題し、リトルマーメイド・メドレーやパイレーツ・オブ・カリビアンなど6曲を披露。第2部では「スクリーン・ミュージック・セレクション」と題し、聴き馴染みのあるミッション・インポッシブルやゴジラファンタジーなどが演奏されました。アンコールでは「今日の日はさようなら」の歌と演奏で盛り上がり、満員となった会場は一体感に包まれました。



「命のありがたさ」を訴える渡部さん

渡部さん「命のありがたさ」語る

8月30日、自殺予防対策の一環として曾於市こころの健康づくり講演会を大隅文化会館で行いました。

講演者は戦場カメラマンとして有名な渡部陽一さん。戦場で暮らす人々や子どもたちについて、ステージ上を動き回りながら大きな身振り手振りを交えて話される渡部さんに会場中が引き込まれていきました。来場者からは「命を大切に一日一日を大事に生きていきたい」といった声が聞かれました。命のありがたさを再認識する機会となりました。



郷土料理の盆団子作り挑戦！

台湾大学生、曾於市で交流

曾於市観光特産開発センターは、NGO日台多文化共生センターと25年度から台湾との文化交流を行っています。この一環として、台湾の大学生代表が8月17日から20日に来られ、曾於市の多くの文化（角力とり節等の郷土芸能、盆団子の郷土料理作り、ポニー等の世話、サツマイモの収穫、フォレストアドベンチャー等）を体験し、大喜びでした。

来年の夏休みにも交流会を計画しており、多くの台湾の大学生が曾於市に来られるそつです。



清掃を行う子どもたちと地域の方々

市内一斉美化活動で地域をきれいに

7月20日を基準日に市内一斉美化活動が市内各地で実施されました。

これは青少年育成市民会議が中心となり、県のふるさと美化活動期間中に実施。各校区・地区公民館や各自治会、単位子ども会等が連携して、今年約4600人が参加し、通学路などのごみ拾いやカーブミラーの清掃、公衆施設の清掃等を行いました。

参加した小中学生は「思ったよりもごみが落ちていた」「通学路が綺麗になり、スッキリした気持ちで通れる」と感想を述べました。



心肺蘇生法の説明を受ける参加者

救急の日に「普通救命講習会」実施

9月9日、「救急の日」にちなんで、大隅農産加工センターで大隅曾於地区消防組合による「普通救命講習会」が行われ、曾於市、志布志市、大崎町から150名が参加しました。

心肺蘇生法やAEDの使用法などについて実技を含む講習を受けた後、講習終了証書を授与された参加者は「講習や実技を通して応急手当の理解が深まった。身近なAEDの場所の確認や適切な応急手当の確認を行い、万が一の時にいち早い対処ができるように心がけたい」と話しました。